

令和6年度日本大学国際関係学部
生活科学研究所シンポジウム

人口減少と地域社会

令和6年
12月3日(火)
13時～16時20分

場所：三島駅北口校舎1階
山田顕義ホール
静岡県三島市文教町1-9-18
(JR三島駅北口から徒歩1分)

スケジュール

参加無料

事前申込制(先着順)

【第Ⅰ部】

(コーディネーター) 日本大学国際関係学部国際教養学科 准教授 宮城 博文

【基調講演】

「人口減少と地方の持続可能性」

一橋大学大学院経済学研究科 教授 関根 敏隆 氏

【研究発表】

①「古代伝承が地域にもたらすもの—SDGsを基軸として—」

日本大学国際関係学部国際教養学科 准教授 笹生美貴子

②「人口減少時代に働き続ける体力を養うために —スポーツ選手糖質オフダイエット症例報告より—」

日本大学短期大学部食物栄養学科 助教 小山 ゆう

③「日大発 新たなモビリティによるまちづくり」

日本大学国際関係学部国際総合政策学科 准教授 矢嶋 敏朗

【第Ⅱ部】

【パネルディスカッション】

「人口減少時代の将来像」

関根 敏隆氏・笹生美貴子・小山 ゆう・矢嶋 敏朗

主催：日本大学国際関係学部生活科学研究所

お申し込みは二次元コード、もしくはホームページから申込書をダウンロードしメールまたはFAXでお送りください。

日本大学国際関係学部研究事務課 〒411-8555 静岡県三島市文教町2-31-145

電話：055-980-0808 FAX：055-980-0879

URL：https://www.ir.nihon-u.ac.jp/research/laboratory/ Eメール：ir-kouza3@nihon-u.ac.jp

